

## ◆ 古典音楽と音楽家たち ◆

室内合奏団クレメンティア団長・フルート奏者 湯川 和雄

室内合奏団クレメンティア友の会の皆様、お元気ですか。

広辞苑で「古典」を引いてみました。

昔、書かれた書物。  
昔、書かれ今も読み継がれる書物。  
転じて、いつの世にも読み継がれるべき価値・  
評価の高い書物。

書物を音楽に置き換えますとそのまま「古典音楽」の説明になります。

昔作られた音楽と一言に言っても、その時代は様々です。4月3日に演奏する曲の作曲者達は、いつ頃の人だったのでしょうか。

ここに作曲者の年代を古い順から書いてみます。

J.セバスティアン・バッハ 1685～1750  
C.P.エマヌエル・バッハ 1714～1788  
(エマヌエルはセバスティアンの息子の一人です)  
M.A.モーツァルト 1756～1791  
チャイコフスキー 1840～1893

この年代をごらんになって皆様はどう思われますか？ 前半の3人は、日本でいえば江戸時代の最只中、チャイコフスキーは、ちょうど明治維新をはさ

んで生きた人——現今のあわただしい時間の過ぎ去り方の中で考えますと、たいへん昔に思われるでしょうね。

ところで西欧では、

1688 英国名誉革命  
1769 英国産業革命  
1776 アメリカ独立宣言  
1789 フランス革命

物騒な出来事ばかり抜き出しましたが、バッハやモーツァルトの生きた時代と照らし合せてみて頂きたく書きました。封建的な世界からの脱却、そして近代の兆しを大音楽家達の鋭敏な感覚がどうとらえたのでしょうか。

J.セバスティアン・バッハは、今では「近代音楽の父」と呼ばれる先駆者でした。彼等の音楽は、時間的には大昔に作られたのは確かです。しかし、今の私達の時代の始まりの時に出来た音楽である事も確かです。

4月3日の曲目、現代の音楽なのだと信じて、私共は演奏します。(2月6日記)



## ◆ アピスタ・フェアにて クレメンティアメンバーによるミニコンサート開催 ◆

冷たい風の吹きすさぶ1月30日(日)、外はすでに日も落ちて凍りつきそうな夕暮れ時でしたが、この日利用団体が一堂に会するフェアが実施されて賑わったアピスタ(我孫子市生涯学習センター)のコンコースは、18時からのクレメンティア・ミニコンサートの開演を待つ人々の静かな熱気に包まれていました。会場に用意されたイス150個を総動員してもまだ足りない大勢のお客様がすでに席を埋め、2階ロビーもお客様が鈴なりになって、今や遅しと音楽家の登場を待っています。

いよいよ第1ヴァイオリンの海和さんを先頭に5名の音楽家たちが、会場入り口のガラス壁面を背にこやかに入場。隣のホール入り口はふれあい工房の皆さんが製作してくれた反響板で見事に塞がれ、木の響きの温もりを予感させます。

第1曲の「G線上のアリア」(J.S.バッハ)が静かに響いたとたん会場を清楚な雰囲気は覆い始め、次いでモーツァルトのフルート四重奏曲二長調、ハイドンの弦楽四重奏曲「セレナード」では、フルートとヴァ

イオリンの甘美な旋律が聴衆の心をとらえます。にこやかに瞑想したりそっと頷きながらリズムを取るお客様の姿からは、ホンモノの音楽に浸る幸せなひとときを過ごせる空間に居合わせた喜びが伝わってきます。

ハイドンのあと、解説してくれた湯川和雄先生の温かい語り口が、作品や作曲者たちの世界に聴き手である私たちをより近づけてくれました。

最後にシューターミッツのフルート協奏曲ト長調より第1楽章が演奏され、音楽家が生み出す室内楽のナマの音と会場、そして聴衆が一体となったとても贅沢な1時間が過ぎていきました。

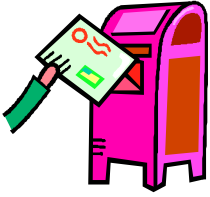
出演は湯川和雄氏(フルート)を中心として海和伸子(ヴァイオリン)、中丸まどか(ヴァイオリン)、梯孝則(ヴィオラ)、松本ゆり子(チェロ)の各氏。皆さんには4月3日予定の第1回コンサート(我孫子市民会館)にて再び熱演を聴かせていただきましょう。

ご来場くださった会員の皆さま、ありがとうございました。  
(事務局 青井真吾)

2005年4月3日 (日)

# 室内合奏団クレメンティア 第1回演奏会

◆ コンサートチケットは、好評発売中です。  
チケットのご購入はお早めどうぞ! ◆



「友の会会員券」は、一般前売り券よりも500円引きで、とってもお得。  
ただいま予約受付中ですので、「チケット申込はがき」でお早めにお申込みください。

### ◎ 「友の会会員券」のご予約・ご購入方法 ◎

事務局からお送りした「申込はがき」に、必要事項を記入してご投函下さい。

チケットと代金振込用紙をお送り致します。

なお、「友の会会員券」は会員限定チケットです。チケット申込と同時に入会（会員登録）をなさる方のご連絡先（ご住所 電話番号 メールアドレス）も申込書に忘れずにご記入下さい。



日 時：2005年4月3日 (日) 14時開演 (13時30分開場) 我孫子市民会館 大ホール

曲 目：シンフォニア第5番短調 Wtoq.185-5 (C.P.E.バッハ)

ブランデンブルグ協奏曲第5番二長調 (J.S.バッハ) 《ソリスト：Cem.小林道夫 Fl.湯川和雄 Vl.谷口哲朗》

ディヴェルティメント第3番K138 (モーツァルト)

弦楽の為のセレナード (チャイコフスキー)

入場料 (全席自由)： 前売り：一般…3,500円 高校生以下…1,000円 友の会会員券…3,000円

当 日：一般…4,000円

主催・お問い合わせ： 室内合奏団クレメンティア友の会 (TEL：04-7188-1673 山下)

### ◎ご注意下さい◎

- ・友の会会員券は前売りのみとさせていただきます。
- ・友の会会員券、高校生以下券は、事務局でのみ取り扱います。
- ・未就学児の入場はご遠慮くださるようお願い致します。



2005年2月23日 (水)

## 我孫子市民会館大ホール音響改善実験コンサート

生の音楽演奏は、我孫子市民会館大ホールのような多目的ホールだと一番大きく悪影響が出てしまいます。4月3日に大ホールで室内合奏団クレメンティアのコンサートを開催するにあたり、少しでも良い音をみなさんに聴いて頂きたい！という思いから、団長の湯川和雄氏が市民会館大ホールの音響改善を提案し、我孫子市教育委員会、ホールの担当者の皆様のご理解を得て、ステージの音質改良をする事になりました(会報2004年10月号にて詳報)。製作はふれあい工房の皆さんが担当し、驚くほどの安さと簡便さで音響の改善対策が実現されます。会員のみならず、この実験に立ち会ってみませんか？音場空間の変化による音の表情の変化や、その不思議さをきっと感じられることと思います。音響改善実験コンサートは、どなたでも参加することができ入場無料です。もちろん、音楽を楽しむに來られる方も大歓迎です。ぜひ皆さんでお越しください。

### 【室内合奏団クレメンティア友の会会員ご招待：入場無料】

日 時： 2月23日 (水) 18時30分～ 我孫子市民会館大ホール

演奏者： Fl. 湯川 和雄

Vl.1 谷口 哲朗 Vl.2 吉岡 麻貴子 Vla. 中山 良夫 Vc. 松本 ゆり子 CB. 村井 東樹

曲 目： アイネ クライネ ナハトムジーク (モーツァルト) フルート協奏曲第2楽章 (シュターミッツ)

主 催： 室内合奏団クレメンティア 共催： 我孫子市教育委員会

問 合 せ： 04 (7188) 1673 山下



### 友の会会員の方からのお便利紹介

- ★上品なデザインのパンフレットですね。私もアピスタで「バッハの会」の登録名でピアノの練習をミニホールなどで行っています。我孫子で本格的なバッハ時代の演奏を聞けるのはとてもうれしいです。
- ★主人がVn.私はVcを弾いています。私の現在の師が小林道夫氏に師事していました。楽しみにしています。サポートをやりませう。
- ★我孫子での初演、わくわくしながら待っています。皆様のご努力に感謝申し上げます。今後の活躍に期待し応援させていただきます。と思っています。

事務局へのお便りやお問い合わせは、下記までお寄せ下さい。お待ちしております。

Eメール： clementia\_fan-owner@yahoogroups.jp

Tel・Fax： 04 (7188) 1673

〒270-1132 我孫子市湖北台2-7-25

室内合奏団クレメンティア友の会事務局長 山下広之

※会員の皆さんがご住所やメールアドレスなどを変更した場合は、必ず事務局までお知らせください。

※友の会の活動をお手伝い頂ける方を募集中です。ぜひ事務局までご連絡ください。

